

穂別小学校 河川防災授業 実施報告

鵡川の災害について学び、自分たちの住む地域の災害リスクを理解するとともに、災害から身を守るために必要な行動を考えもらうことを目的とし、防災講話および、ハザードマップ等を使った学習、マイ・タイムラインの作成による防災授業を実施しました。

実施概要

実施場所	むかわ町立穂別小学校 (むかわ町穂別114-2)
実施日	令和7年11月18日(火)
実施時間	10:20~11:55(5分休憩含む) 3~4時間目(45分×2コマ)
実施会場	2階 家庭科室
対象学年	5年生(12名)
内容	防災講話、ハザードマップを使った学習、川の水位調べ、マイ・タイムラインの作成
支援機関	北海道開発局室蘭開発建設部 環境防災総合政策研究機構



むかわ町立穂別小学校

実施スケジュール

	実施内容
3時間目 (10:20~11:05)	■ 今日のおはなし 今日の防災授業について内容紹介
	■ 防災講話 川の利用状況、過去の災害、流域治水の取組み等について説明
	■ 地域の災害リスクを確認しよう ハザードマップを使って、地域にある災害リスクを確認し、鵡川が氾濫したり、土砂災害が起こる前に避難し終えておくことの大切さについて説明
	■ 防災クイズ 防災情報や気象情報、非常持出品についてのクイズを出題し、注意点等を交えて解説
	■ タブレットを使って川の水位を確認してみよう タブレットを使って実際に「川の防災情報」にアクセスし、鵡川の現在の水位や雨量、河川カメラを確認
4時間目 (11:10~11:55)	■ マイ・タイムラインについて マイ・タイムラインについて説明した3分程度の動画視聴の後、台風が発生してから川が氾濫するまでの状況を説明
	■ マイ・タイムラインの作成 逃げキッドの資料を使って、マイ・タイムラインの作成を体験

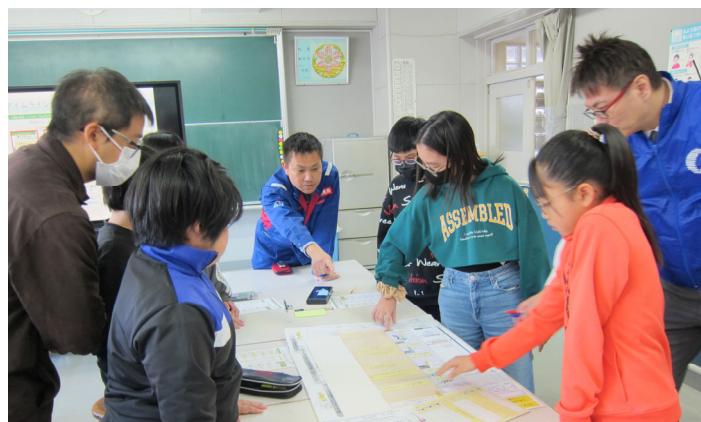
授業の様子（3時間目）

防災講話では、鵠川の自然や歴史、過去の災害、流域治水の取組みについて等、鵠川全体についての学習を行いました。その後、ハザードマップで地域の災害リスクについて確認し、災害に備えて事前に準備しておくことの大切さを学んだり、タブレットを使って「川の防災情報」のサイトから鵠川の水位を調べる方法を学習しました。

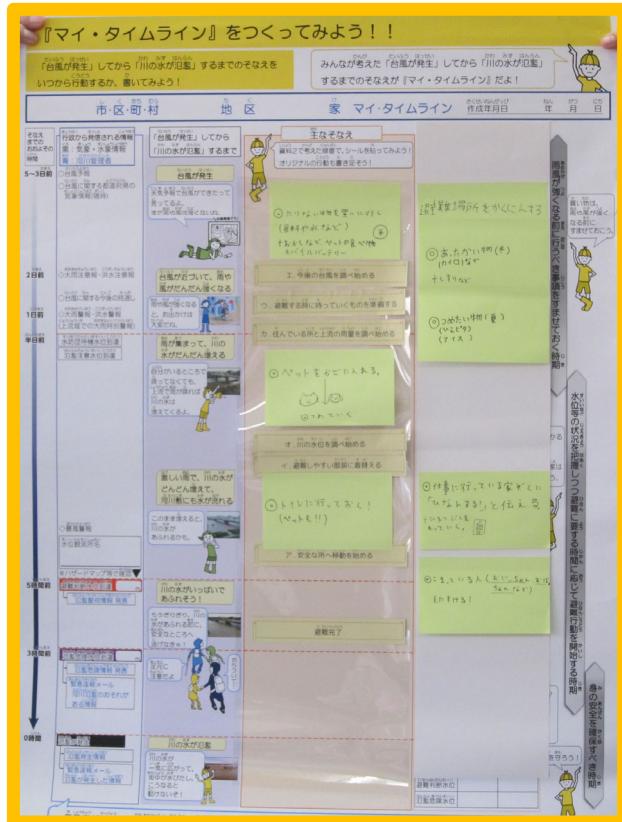
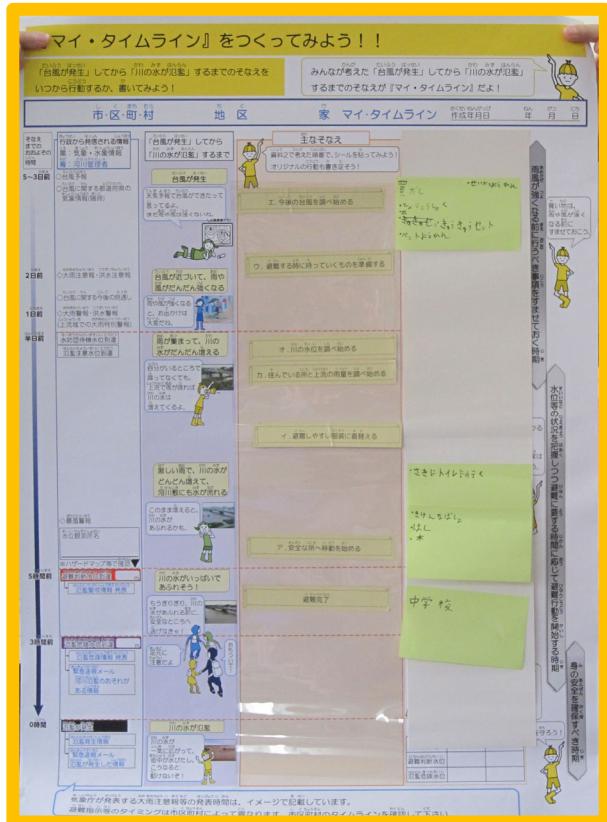


授業の様子（4時間目）

4時間目は、逃げキッドの資料を使ってマイ・タイムラインの作成体験を行いました。台風が発生してから鵠川が氾濫する前に避難が完了できるように、必要な準備についてグループごとに話し合い、最後に発表してもらいました。

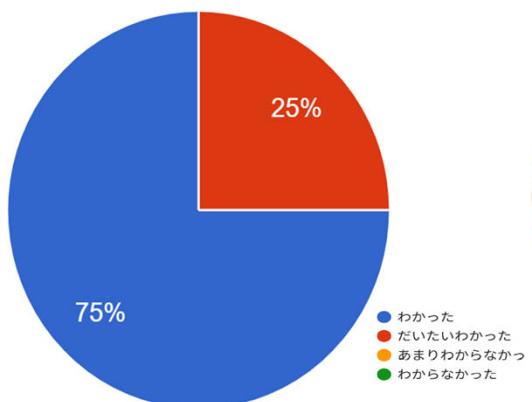


グループワークで作成したマイ・タイムライン

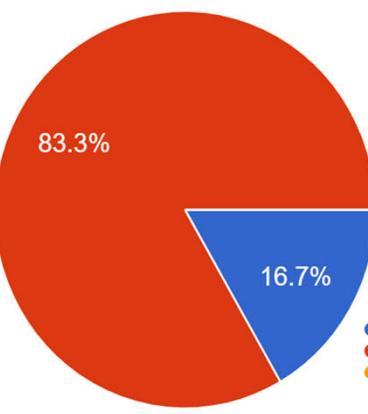


生徒・先生へのアンケート結果

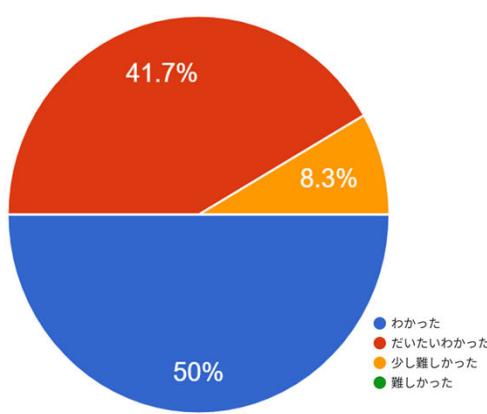
事前の準備や早めに避難することの大切さ



非常持出品の準備



マイ・タイムラインの作成について



■ 生徒の感想（一部抜粋）

- ・災害が起きる前の準備の大切さがとても分かりました。
- ・しっかりと準備をすることが大切だということを再認識しました。
- ・私の家のそばの森っぽいところが崩れかかっているんです。もし森が崩れたら今日やった事を生かしていきたいです。
- ・避難は早めにすることが大切ということが分かった。
- ・マイ・タイムラインせいさくは、大事だと知りました。
- ・計画的に避難することがわかった。

■ 先生の感想

子ども達にとってマイ・タイムラインの作成は自分の手を動かしている分、記憶に残りやすかったのではないかと思います。また、サポートの声掛けもたくさんしていただけたので迷いながらも完成させることができてよかったです。ありがとうございました。